

スポーツの拠点・陸上競技場

Athletic field

きめ細かなユニバーサルデザインを実践し、誰もが使いやすい競技場を目指し建築をしました。(障がい者陸上大会にも対応する施設)
観客席前面には段差なくアクセスできる車椅子スペースを用意し、開放的なコンコースや両サイドの階段は解りやすく安全な避難経路としました。

市の競技スポーツ、生涯スポーツの拠点として

東近江地域唯一の公認陸上競技場として、トップアスリートも満足できるハイレベルな施設としました。
全天候舗装9レーン(日本陸上競技連盟第3種公認)
フィールドは天然芝でサッカーやラグビーなどの公式戦も開催できます。



1 400mトラック9レーン 3種公認の陸上競技場 1,860人収容の観客席
2 足にやさしいゴムチップ舗装のジョギングコース1km/600mコース
3 雨天練習走路 3レーン×40m 4 太陽と風を利用したハイブリッド型照明



5 アカマツ林を残して林間のグラウンド・ゴルフコース8ホール
6 白鳳・奈良時代の壺焼谷遺跡 7 渡り鳥も飛来し、自然再生した雨水排水の調整池



8 大型複合遊具、幼児用遊具を配置し、子どもが楽しめるこども広場 9 布引運動公園のシンボルである大空広場と屋根がリスミカルに連続するプロムナード 市民が集う交流の場
10 整備された南斜面の里山再生 11 スタンドから望む其作山(太郎坊)方面の眺望 12 大空広場から望む体育館方面の眺望 13 展望台から望む、かつて旧陸軍飛行場があった沖野ヶ原

施設案内



14 擁体塚(エンタイゴウ) 旧陸軍の飛行機格納庫
15 インモチソウ モウセンゴケ科の多年草 開花は5月末から6月初旬。 環境省では、絶滅危惧Ⅱ類に分類



1 開放的なスポーツ情報プラザ 2 トレーニングルーム 3 沖野ヶ原に飛び立つ飛行機をイメージ 4 大空を舞う大鳳をイメージしたスタンド上部の大屋根 5 医務室 6 シャower室 7 大会本部室

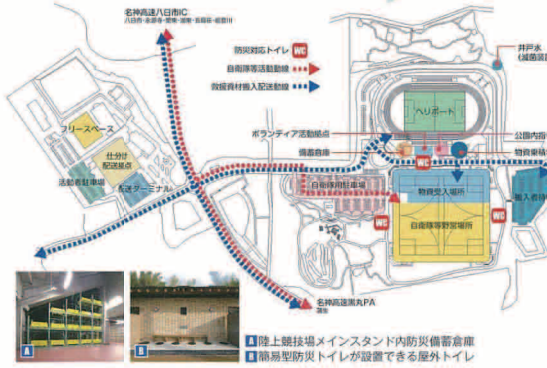


14 伐採木をチップし舗装材として利用した園路



17 170m×162mの多目的グラウンド 野球・ソフトボール・サッカーなどに利用 夜間照明塔16基を完備

防災公園/地域防災拠点として Disaster prevention



地域防災拠点となる施設

布引運動公園は都市の安全性向上を図るため、災害発生時に
自衛隊・消防部隊・ボランティア等の救援救護活動の前線基地
・広域輸送拠点や他地域からの救援物資輸送の中継基地
として機能する地域防災拠点となる防災公園として整備をしました。

- ・災害発生時に機能を発揮する主要な施設
- ①ヘリポート (陸上競技場フィールド)
 - ②自衛隊等野営場所 (多目的グラウンド、駐車場)
 - ③物資受入場所 (多目的グラウンド)
 - ④物資集積場所 (大空広場、プロムナード)
 - ⑤備蓄倉庫 (陸上競技場メインスタンド内)
 - ⑥ボランティア活動拠点 (メインスタンド内会議室等)
 - ⑦活動者駐車場 (体育館前駐車場)
 - ⑧公園内指令拠点 (陸上競技場管理事務室)
 - ⑨仕分け配送拠点 (体育館)

- ・その他の防災設備
- ①緊急遮断弁付き受水槽 (上水道)
 - ②井戸水 (減菌装置付)
 - ③防災対応トイレ (屋外トイレ)
 - ④発電設備 (非常用自家発電設備)
 - ⑤照明設備 (風力・太陽光発電照明灯)
 - ⑥放送設備 (園内放送)
 - ⑦情報通信設備 (防災無線、CATV)
 - ⑧温水シャワー設備 (陸上競技場更衣室)